

モノづくりのはじまり KOSAI

1 事業所あたりの製造品出荷額等
静岡県内 ダントツ **1位**

湖西市の恵まれた地理は豊かな自然環境を育み、交通の要衝として東西交流が生まれる起点となりました。時代とともに産業が発展する中、人々の志が新たな技術の萌芽につながりました。「地」から「志」、「志」から「技」へと。それぞれの“はじまり”が歯車のように噛合いながら、湖西市のモノづくりは発展しつづけています。

技

技

技術の進化

窯業>繊維業>軍需産業
>自動車・電機・電子産業

適応力

幾度の震災と大戦、
時代の変革期を乗り越えて



むていしひがえしき
無停止杼換式 豊田自動織機
(G型自動織機)

1924年、50以上の特許とともに完成された自動織機です。
「魔法の織機」と呼ばれ、世界各国がごぞって輸入しました。

志

報恩・創造

報徳の精神、豊田佐吉の教え
「世のため人のため」

発明力の継承

失敗にくじけず挑戦しつづける心
創造力豊かな子どもたちの育成



豊田佐吉胸像
(豊田佐吉記念館内展示)

長らくの鎖国で工業力に乏しかった日本に新たな産業を創ろうと、生涯を通じて数多くの発明を残しました。

地

輸送交通

東京・大阪への好アクセス
人と情報の中継地点

自然環境

水源と緑豊かな地形
日照に恵まれた温暖な気候



潮見坂から望む遠州灘

東海道五十三次の白須賀宿があった潮見坂は、東西交通の中継地として栄えました。現在は道の駅が設置され、国道一号線の大動脈が多くの交通を支えています。

モノづくりのはじまり KOSAI

長崎県と
ほぼ同額!!

湖西市の製造品出荷額等

1兆5,708億円

県内3位

1事業所あたりの製造品出荷額等

69億2,000万円

県内1位

2022年経済構造実態調査より

技

時代の変革期を切り拓く発明力

湖西市のモノづくりは、古墳時代の窯業に始まり、明治時代には養蚕業が遠州木綿の生産に発展しました。その後、機織りの機械化を実現したのは、自動で糸を補充し布を織りあげる、からくりの仕組みです。この、動力で機構を動かし作業を自動化する技術は自動車産業へと転換され、100年以上にわたる産業の発展に貢献することとなりました。湖西市の技術力の核心は、自然の活用から動力の応用へ、そして自動化へと進化を遂げた「人々の暮らしを豊かにする発明力」にあるといえるでしょう。自動車産業を含む製造業が新たな変革期を迎えた現在、モノづくりの技術力もさらなる進化を遂げようとしています。

志

世のため人のために想うモノづくり

湖西市には、報徳の精神に基づく自然との共生や協力経済の在り方が根付いています。トヨタグループ創始者の豊田佐吉は、機織りに苦心する実母の姿を見て自動織機の開発に尽力し、日本の産業力向上に貢献しました。世のため人のために想うモノづくりを次世代につなぐため、湖西市では「報恩・創造」の思想を顕彰。こどもたちの夢と創造力を育む環境づくりが進んでおり、モノづくりのアイデアを形にする場が地域に展開されています。

地

人と物と情報の中継地点としての地の利

湖西市は、古くから東海道をはじめとする主要な街道が活発に利用され、人・物・情報が行き交う要衝として栄えてきました。江戸時代には新居関所に宿場町が形成され、1885年の東海道の国道指定、1889年の東海道線全線開通などを経て、輸送機能が発達。遠州灘の白須賀湊や1907年に鷺津駅裏に誕生した浜名湖巡航が水運拠点となり、湖上・海上の交通も充実しました。天竜川や豊川の水系と湖西連峰、浜名湖に囲まれた豊かな自然環境も、湖西市のモノづくりを支える基盤となっています。